



上神明だより

【2月号】

令和3年1月29日
品川区立上神明小学校
校長 松崎 行雄

コロナ禍だからこそその儀式的行事

校長 松崎 行雄

12月5日に4・5・6年生が参列して、開校80周年記念式典を挙行了しました。少人数のご来賓のみお招きして、35分間という短時間の式でした。しかし、子どもたちは、ピリッと背筋を伸ばした姿勢を崩さず、起立や礼の作法も見事で、見ているだけでも清々しい立派な姿でした。12月25日には2学期終業式を、1月6日には3学期始業式を、同様に体育館で全校児童が参加して実施しました。もちろん、十分な換気を行い、十分な間隔をとって並ばせました。それでも、体育館に全校児童が収まります。小規模校のよさです。

全校児童が一堂に会する教育活動は、基本的には行っていません。しかし、本校では節目の儀式的行事だけは、敢えて全員集合で行っています。それは、コロナ禍にあっても、現場で行う価値のある教育活動と位置付けているからです。

事前にその式の意味合いをしっかりと理解させる。子どもたちは、自分の心や態度を整える。規律ある雰囲気自らも作り出す。その雰囲気を味わう。そして、清々しい気持ちを体験する。そんな活動が、子どもたちの心身の健康と安定にいい影響を及ぼすと確信します。因みに、本校では、式後に教室に戻る場面も大事にしています。体育館を出た瞬間に「ああ、終わった、終わった！」の状態になってしまっただけでは、台無しだからです。子どもたちも、そこをよく理解していて、静々と黙って教室に戻って行きます。これが、本校の当然になっています。

ところで、今年の成人式は、区市によっては残念ながら中止となりました。ある企業がネットで「成人式が中止となってどう思うか」と質問したところ、4200人から回答があり、最も多かった意見が衝撃的で考えさせられました。それは、「参加しない理由ができてよかった」という冷めた意見です。同級生とは、オンラインでいつでも会える。飲食店で宴会もできない。確かにそういう状況はあります。しかし、自らの重要な儀式的行事である成人式がなくなって、「残念」という思いが、第1位ではないのが意外です。私は、学校の立場から、ここに学校の役割も痛感します。「儀式的行事の意味や気持ちよさ」を、子どもたちにもっと味わわせたいと思います。

人の一生のうちには、入学、卒業、就職、結婚、我が子の七五三、お葬式などの節目の儀式が必ずあります。いっぱいあります。そこに、どんな気持ちや態度で臨んだらよいのか、どんな挨拶や受け答えをしたらよいのか。それらを正しく理解して実践できる大人に育っていくべきだと思います。そして、お互いの人権や社会の平和と安定、日本の伝統文化などを大切にできる大人になってほしいと願っています。

まだまだ続くコロナ禍です。大切にすべきは、教育のICT化だけではないと思います。子どもたちの将来のために大切にしたいものをしっかりと見据えて、今、学校では、令和3年度の教育計画を作成しています。

2月・3月の行事予定

* () 内の数字は学年を表す

2月		
1	月	全校朝会（放送）
2	火	
3	水	安全指導日
4	木	避難訓練
5	金	委員会
6	土	土曜授業 3時間授業
7	日	
8	月	全校朝会（放送） オリパラ思い出づくり行事（6）
9	火	
10	水	わくわくタイム
11	木	建国記念の日
12	金	クラブ クラブ見学（3）
13	土	
14	日	
15	月	全校朝会（放送）しながわドリームジョブ（6） 家庭学習週間（～2/21）
16	火	こくり授業（5）
17	水	わくわくタイム
18	木	お話し会
19	金	
20	土	土曜授業 3時間授業 市民科授業地区公開講座 （3時間目10：25～11：10）
21	日	
22	月	全校朝会（放送）しながわドリームジョブ（6）
23	火	天皇誕生日
24	水	品川教育の日（6）5時間授業 6年以外午前授業
25	木	
26	金	委員会
27	土	
28	日	

3月		
1	月	全校朝会（放送） しながわドリームジョブ（6）
2	火	安全指導日
3	水	わくわくタイム
4	木	読み聞かせ
5	金	
6	土	土曜授業 3時間授業 6年生を送る会
7	日	
8	月	全校朝会（放送）
9	火	
10	水	わくわくタイム
11	木	お話し会
12	金	避難訓練
13	土	
14	日	
15	月	全校朝会（放送）
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	春分の日
21	日	
22	月	全校朝会（放送） 卒業式予行（5・ほ5・6） 1～4年午前授業
23	火	給食終
24	水	卒業式（5・ほ5・6）
25	木	修了式 午前授業
26	金	春季休業日始
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

【書き初め大会】

1・2年生は硬筆、3～6年、ほほえみ学級は毛筆の作品を仕上げました。12月中の授業や冬休み中に練習したことを思い出し、「黙って、よく見て、丁寧に」というめあてを心に留めて、どの子も一生懸命取り組んでいました。

今年度は、作品を撮影したものを保護者の方向けに限定配信をいたします。同じお手本を使っている、元気な字、よく整った字、慎重に書いている字等々、それぞれの作品にその子らしさが見てとれます。書いているときの真剣な表情も思い浮かべながらぜひご覧ください。



(国語担当 大間 孝子)

【食育授業】

1月18日(月)から22日(金)に全学年を対象に食育授業を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、ランチルーム給食ができなくなっていました。ランチルーム給食に代わる食育として、給食室での作業風景や給食が届くまでの調理員さんの動きなどを写真と一緒に話をしました。「調理員さんは朝の6時30分に学校に着いています。」「1メートル以上ある大きい釜が4つあります。」などと言うととても驚いた様子でした。また給食のカレーライスのルウが小麦粉から作られていることを説明すると、「すごい!」「カレー好き!」と大興奮していました。

今回の食育授業を通して、給食が届くまでにはたくさんの人の支えがあることを分かってもらえたと思います。今後も調理員さんに会ったときには挨拶や感謝を伝えてほしいです。

(栄養士 須藤 綾梨)

【ブックフェスティバル】

1月18日(月)から2月5日(金)まで、図書委員会企画によるブックフェスティバルを開催しました。2学期からどんな内容にするか、誰が何を担当するのか、役割分担などを決めて進めてきました。みんなに多くの本を読んでもらうため、図書室にある分類番号の本を読み進めてビンゴをすとしおりのプレゼントがもらえるようにしました。本は一人3冊まで借りられます。ビンゴ表は、そのデザインを担当する児童たちで、下書きから清書まで行い、プレゼント用のしおりは休み時間を利用して委員会メンバーでコツコツと作りました。分類ごとに読んだ本にスタンプを押すために、図書委員の先生たちで学校用に「かんがえる」のかえると「ニコニコぶどう」スタンプも作りました。今年もみんなで作りのあったかいブックフェスティバルを行うことができました。

(図書担当 岩崎裕美)

【各学級の成長の様子】

1年1組

学校生活にもすっかり慣れて、友達同士の関わりも深まってきました。集中して話を聞くことや、学習の準備をしてから遊びに行くことなど、学習に臨む姿勢が身に付いてきました。休み時間は、全員が集まってじゃんけんをして遊びを始めています。給食当番の配膳が上手だったり、一人一役の当番も責任をもって取り組んだりできています。できることがたくさん増えた1年生。残り2か月で、新しい1年生を迎える準備をしていきます。

(1年1組担任 飯野 敦子)

2年1組

「自分(自分たち)で気付ける」ことが多くなってきました。

◆授業?休み時間? ◆喋る?喋らない? ◆今?今じゃない?

何でもかんでも大人に教えてもらうことから次の段階に進んでいます。「周りを見て考える力」とも言えるかもしれません。一人できるとそれが二人三人…と真似をしてどんどん増えているので成長が速いです。

(2年1組担任 後藤 竜大)

3年1組

中休みが終わってからの気持ちと行動の切り換えを学校で一番速くしようと取り組みました。チャイムが鳴る前に3時間目の授業を始められるのが当たり前になりました。また短歌や詩の暗唱も頑張りました。みんなの前で発表する緊張感を味わいながら覚えられたという達成感が自信になっています。更に友達が発表するのを最後まで静かに聞いたり、心の中で励ましたり、チャレンジ成功と一緒に喜んだりすることもできるようになり、クラスの一体感が増してきました。最後に、3年生から始まった毛筆の授業。最初はとても苦労していましたが、「集中して一生懸命やること」を目標に練習を重ね、ピリッとした雰囲気の中で集中して取り組めるようになってきました。

(3年1組担任 内山 翔太)

ほほえみ学級

今年度は1年生3名が入学しました。途中、転学や転入もありましたが、現在11名の児童が在籍しています。

感染症の影響で、最初は何の子も学校生活に慣れることに一生懸命でした。感染予防を取り入れた生活に慣れてくると、1年生は主体的に行動する場面が増え、上級生は様々な場面で、1年生を気にかけてたり、お世話をしたりするなど、年度の後半は、異学年と一緒に生活する学級の良さがたくさん見られました。

(ほほえみ学級担任 瀧本 緑)